

命を護る救命器具です・製品受領後必ずお読み下さい。



EX.自動膨張救命いかだ(ゴムボート)

取扱説明書 [15人/25人用]

小型の4/6/8/10人用(常時在庫)のほか、50人・100人・125人用の受注生産もしています。

実際に使用するまでは、絶対に本体のコンテナを開梱したり、白いロープを引かないで下さい。

本製品は、「海上における人命の安全のための国際条約SOLAS(74/96)」適合の、国際航海等近海以上を航行区域とする船舶(漁船を除く)の救命設備である、自動膨張救命いかだ(屋根付ゴムボート)としての構造・性能・艤装品を完備しています。命にかかる非常事態になった時、正しく使えるよう、**製品受領後、必ず、すぐに取扱説明書を熟読**して下さい。同じ取説が、コンテナ内部に収納されているいかだのキャビン内と、コンテナの外側にも貼り付けてあります。

本製品は上記の通り、国際規格に適合する救命器具で、外国船籍船には搭載できますが、日本船籍船に搭載する場合は我国独自の規格にも適合する必要がありますのでご注意下さい。尚小型船舶の場合、救命器具としては、救命胴衣、救命浮器、救命いかだのいずれかを搭載する義務がありますが、**日本製救命いかだは、当社が販売する救命いかだの4~5倍の高価格ですから、ほとんどの小型船は自動膨張救命いかだを搭載していません。安全を確実に担保するために、JG規格の救命胴衣を法定数搭載し、任意で低海水温でも浮いて助かる当社製救命いかだを搭載されることを強くお勧めします。**

保管及移動方法

- 必要時にすぐに、海面や地面で使用できるよう、搬出しやすい場所に保管。
- コンテナ上に、重い物や、取り除きにくい物を置かず、安定した、湿気の少ない所に保管。
- 保管中も移動時も、絶対落としたり、衝撃を与えない。コンテナ移動時は絶対転がさない。
- 使用するまで、絶対に白いロープを引っ張らない。
- 船上保管用の専用架台(オプション)があります(陸上や屋内保管にも使えます)。詳細はお問い合わせ下さい。



定期点検・整備・保証

同封の保証登録書にご記入の上、お送り下さい。製品保証書を折り返しお送りします。又、4年半経過後、当社より定期点検のご案内をお送りしますので、ご住所を変更された場合は、住所変更届を当社にお送り下さい。整備・点検・保証などの際に、保証書のご提示がないと、保証の対象外、又は有償点検となります。

●定期点検・整備: 5年毎に、ガスシリンダーを新品と交換し、本体の点検整備をお受け下さい。お客様より、ご所有の救命いかだを当社指定の整備工場へお送り頂き、10営業日以内に点検整備後、救命いかだをお客様へ返送します。

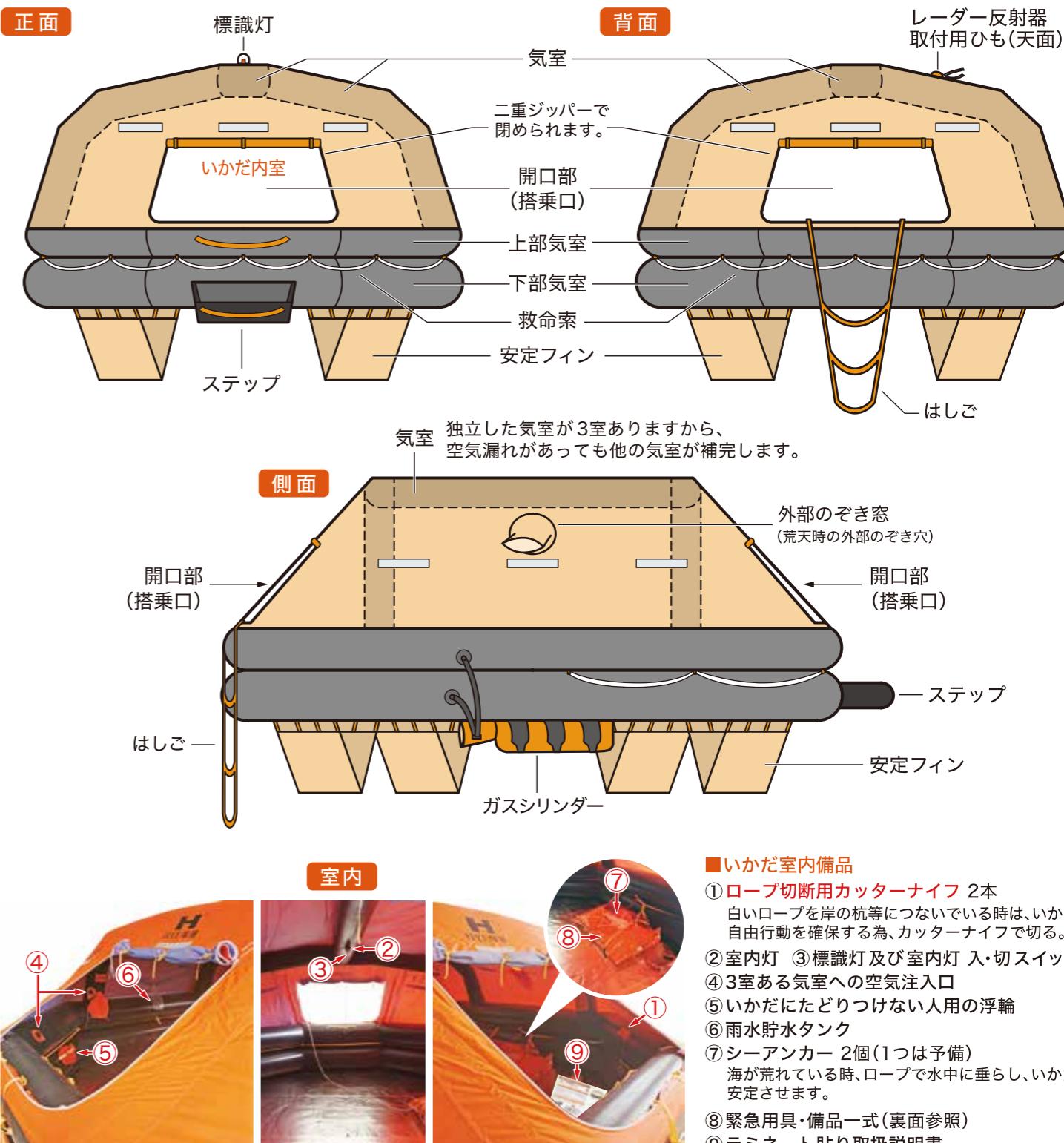
●整備・ガスシリンダー交換費用: 220,000円(税及び返送料込)。引取りご希望の場合は、別途33,000円(税込)お支払い下さい。

●リース方式: 上記整備期間中、救命いかだがお手元にない期間が2週間近くとなり、その間、万一にも津波等の災害が発生し、取り返しのつかない事態になる事を懸念し、下記お貸出しオプションを今回ご用意しました。

お客様が救命いかだをまずサービスステーションに送るのではなく、最初に当社からお客様に未使用の救命いかだをお届けした際、同時にお客様の救命いかだを引取ります。いわばリースと同じ形態です。これにより、救命いかだの空白期間が無くなり、1年365日ご安心頂けます。この場合の追加費用は、55,000円です。

仕様

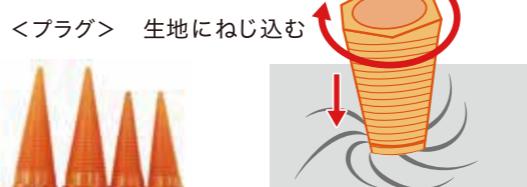
| EX.自動膨張救命いかだ (ゴムボート) | ◆15人用 | ◆25人用 | 材質 | 規格 |
|-------------------------|----------------------|----------------------|---|---|
| コンテナ | コンテナ | コンテナ | 救命いかだ: 弹力性 ポリアミド生地 / コンテナ: 強化ファ イバーグラス | <HYF-15C> <HYF-25C> |
| 収納サイズ(約/mm) | 円筒型: 132×Φ68cm | 円筒型: 148×Φ74cm | | 「海上における人命の安全のための 国際条約SOLAS (74/96)」に準拠 |
| 収納重量(約) | 95kg | 130kg | | ご不明な点は当社お客様相談室に ご連絡下さい。 |
| 膨張時サイズ(約/cm) 幅×奥行×高さ | 330(345※1)×330×160※2 | 337(352※1)×477×160※2 | 原産国:中国 | |



いかだの頂点の標識灯と、いかだ内の室内灯の電池は約10時間で消耗しますから、③の赤いスイッチを動かすと、入・切できます。別途、災害用自家発電マルチユニット(当社エバーブライトスーパー・ミニ多機能自家発電ラジオライト等)を準備されることをお勧めします。海が荒れたり、風雨が強い時は、いかだの揺れが激しくなります。備え付けの⑦シーアンカーを水中に投下し、いかだの揺れを抑えて下さい。又搭乗者が一か所に集まり、重心が傾かないように注意して下さい。風雨除けの為に搭乗口を閉じていても、側面に設置されているスリーブのついたのぞき窓に顔を入れ、外部の様子を見ることができますし、換気口としても機能します。

修理キットの使用方法 … 下図を参照して、本体の空気洩れと水の侵入を防いで下さい。

● 小さい穴の場合



● 大きい穴の場合



使用方法

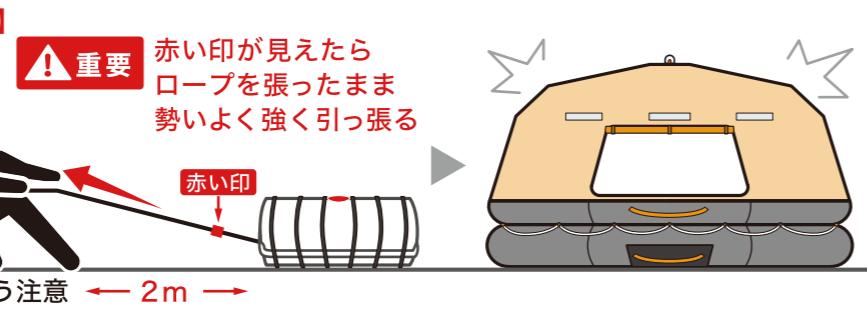
■ 地上(海辺・川辺・公園や庭などの平地)で膨張させる【図-1/2】:

- ① 本体ケースを、赤い▲マークの面を上にして、5メートル四方以上の、尖ったもの(木の切り株・石・金属片等)が無い、平らな場所の中央に置く。上下反対に置くと、いかだが上下逆になって開くので注意。
- ② コンテナの右側面の丸穴から(キャリーバッグの場合は、右側面の黒いカバーをはがした内側の丸穴)出ている白いロープを引き出しながら2メートル位離れた場所に踏ん張って立つ。ロープで引っ張ると、いかだがつられて動くようなる。
- ③ ロープを更に約21メートル引くとロープの赤い印が見えたら【図-2】、ロープをぴんと張ったまま更に数十センチ引くと、抵抗を感じるポイントがあるので、抵抗を感じたら、ロープを張ったまま、勢いをつけてグッと手前に引く。ロープをぴんと張らず、たるんだまま引っ張ると、ガスボンベのピンが開かず膨張しないので、ロープを張り詰めたまま、しっかりピッとして引く。
- ④ ガスボンベのピンが開き、炭酸ガスが注入され始め、自動的にケースが開き、ガスの注入が続き、約2分で膨張が完了、完成。
- ⑤ ケース内部のいかだは、大型ビニールの袋に入っているが、膨張を続けると自然に袋が破れ膨張が完了します。もし袋が破れない場合は、すぐにビニールを手等で破り、膨張を継続させる。

【図-1】



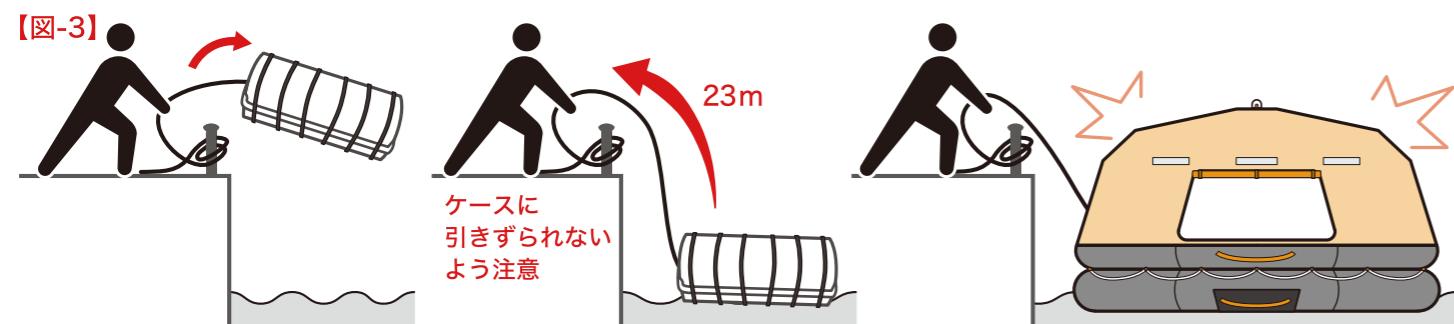
【図-2】



■ 船上や、海・川辺の橋等、高い所から水面に投入して膨張させる【図-3】:

- ① 白いロープを2メートル程引き出し、ロープの端を手すりや欄干などに、いかだ膨張後、すぐに解きやすい結び方でくくりつける。赤い▲マークの面が上に来るよう、水面に投下する(二人でケースの両端を持ち、ケースを平らにして水平に投下する等工夫)。
- ② 上記「地上での膨張方法③」と同じ動作を行う。
- ③ ●投下後、▲マークが上に来ず、上下逆さまに水面に浮いた時は、長い棒で上下をひっくり返すか、水に入り手でひっくり返す。
●どうしても正常位にならない時は、膨張させてから、水に入り、【図-5】の通り正常位に戻す。
- ④ くくりつけられる適当な手すり等が無い時は、手でしっかりロープを持って投げ入れるか、地上で膨張させてから、水面に投下する。
- ⑤ 投下する位置と、水面との高低差が24メートル以上ある場合は、投下すると必ず開き、本体重さに引きずられて、投げ入れた人が落下しないよう注意。

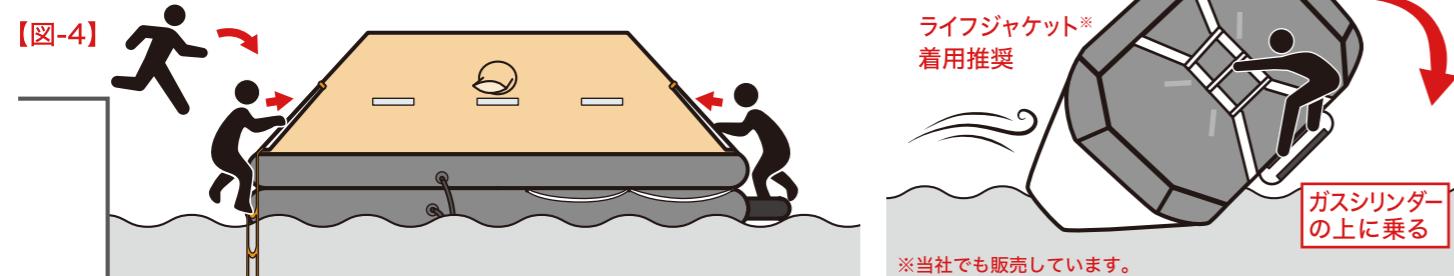
【図-3】



■ いかだへの搭乗(水面)【図-4】:

- ① いかだの膨張が完了し、水面に浮いたら、いかだが至近距離(~2m)にある時は、1人ずつ間隔を置いて開口部(搭乗口)よりいかだ内部に飛び込む。乳幼児はいかだの中にいる人へ投げ渡す。少し離れていて飛び込みが困難な時は、一旦水中に浸かってから、開口部の搭乗口下のはしごをつたっていかだに搭乗。
- ② 最初に搭乗した人は、次の搭乗者に手を貸し援助、又いかだにたどり着けない人がいたら、備付けのロープ付小型浮輪を投げて掴ませ、ロープを手繫り寄せる。全員搭乗が完了したら、必要に応じ、地上に結びつけてあるロープを切断し、いかだの自由行動を確保。

【図-4】



いかだ本体の空気室(気室)は、本体下部気室・上部気室・天蓋(カノピー)支柱気室の3気室で構成されています。

もし上部又は下部気室のどちらか一方の空気が抜けても、いかだは十分な浮力がありますから落ち着いて行動して下さい。

- いかだ内部では、いかだの床や、気室を傷つけないよう注意。固い底・とがったヒールの靴、尖った器具・アクセサリーを使用・着用しない。
- いかだには、底部に水中フィン(アンカー)が設置され、安定を図っている。いかだ内で搭乗者が一か所にかたよって座り、バランスを崩さないように注意。
- いかだには、下記緊急用具・備品が搭載されているので、必要に応じ活用。
- いかだを膨張後、ガスシリンダーの使用が長期間になると気室の空気が自然減少するので、備品の空気ポンプを使い空気を充填。
- 自動膨張機器・装置は最低5年に一回の点検が必要です。下記記載の輸入総発売元にお問い合わせ下さい。
- 日本船籍の船舶に救命装置として搭載する場合は、一部備品の追加及び国内法に準拠した改造・点検が必要です。輸入総発売元にお問い合わせ下さい。
- 災害時には通常容易に入手できる食料や各種用具が入手できません。当社ホームページ記載の防災用品を準備される事をおすすめします。
- 誤って膨張させた場合等は、当社サービスステーションにおいて整備が必要です。絶対に不必要に膨張させないで下さい。

緊急用具・備品【いかだの中に入っています】(別売単価:価格は予告なく変更になることがあります。)

① 水に浮く手漕ぎオール × 2 (1個 ¥2,200)

いかだの推進・方向転換に。流されないよう注意。



② 水汲み用ひしゃく × 2 (¥1,100)

侵入した水の汲出し用。



③ 水吸出用スポンジ × 2 (1個 ¥220)

浸水した少量の水の吸い取り用。



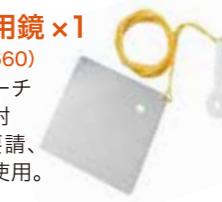
④ 空気ポンプ × 1 (¥1,650)

気室に空気を注入する時に使います。



⑤ 信号発信用鏡 × 1 (¥660)

太陽光やサーチライトを反射させ、救助要請、位置確認に使用。



⑥ 水に浮く防水懐中電灯 × 1 (¥1,100)

予備電池、予備電球付。



⑦ 笛 × 1 (¥220)

救助要請、位置確認に使用。



⑧ レーダー反射器 × 1 (1個 ¥3,300)

(膨張後)
この反射器は地上、上空、海上からのレーダー信号(主にSチャンネルの3MHzとXチャンネルの9MHz)を受信してそれを增幅して反射させる機能を持っており、救助隊に的確に信号を伝えることができる。

- 1) ビニール袋に入っている反射器を取り出す。
- 2) 救命いかだの中に入っている空気ポンプを使って、あるいは口から空気を入れて膨らませる。ポンプを使う場合はあまり空気を入れ過ぎない。
- 3) 膨らんだ反射器を天面についているひもに結びつける。

⑨ 手持ち式赤色火炎発煙筒 × 3 (1個 ¥3,300)

- 1) 赤色のレバーを起こして金属の筒と一直線にし、黒いゴムキャップを取り除き、金属部分ではなく赤いレバーを握ります。
- 2) 中にある点火コードを引くと発煙が始まります。必ず人のいない方に向けて下さい。発煙は約60秒続きます。

⑩ パラシュート型赤色発煙筒 × 2 (1個 ¥5,500)

- 1) 両端の赤色と黄色のキャップを取り外し、下のキャップにある湿気防止の紙を取り除きます。
- 2) 中にあるリングに指を入れて強く下に引いて、両手でしっかりと持つて筒を上に向けます。高さ300m、3万カンドラ以上、約40秒間燃焼します。

⑪ 水上発煙器 × 1 (1個 ¥11,000)

赤い蓋を外し、内側のブルーリングをすぐに引いて取る(内部は熱いので注意)。海に投げ入れると、3秒以内に煙が発生。



⑫ 修理キット [プラグ大小×各2、クランプ×2、スクレーパー、ゴム布、接着剤、紙やすり、ハサミ、接着剤用ブラシ] (1キット ¥5,500)

本体に穴が開いた時、穴にプラグをねじ込み、本体の生地をよじり、水留めに使用します。穴が大きい時はクランプの片方を生地の中側に入れてねじを締めて挟み込みます。



⑬ 保温着 × 2 (1個 ¥5,500)

袋を開け、足から入れて首まで引き上げ、ファスナーを締める。



⑭ 救急キット × 1 (1キット ¥6,600)



⑮ ラミネート貼り取扱説明書



推薦追加備品: 通常は容易に入手できる食料、各種用品が災害時には入手できません。普段から防災用品をご準備下さい。当社は、永谷園の美味しい長期保存食、防災用品ベスト1に選ばれた防災セット、浮具にもなる防災バッグ、ライフジャケット等、機能に優れた防災用品をご提供しております。メテックス→検索で当社HPをご覧下さい。

EX.自動膨張救命いかだ 日本総代理店・輸入総発売元



〒106-0044 東京都港区東麻布3-3-9
アネックス麻布十番オフィス3階
TEL03-3589-3300 www.metex.co.jp/



メテックス 検索

お客様相談室

TEL: 03-3589-4555
(土・日曜・祝祭日・年末年始を除く平日9:15~17:15)
FAX: 03-3589-5500 (24時間受付)
E-mail: metex-master@metex.co.jp

©2023-2025 Copyright by METEX All rights reserved. 本書の一部あるいは全部を無断で転載または複写(コピー)することを禁止します。